

## 第 20 回 放 送 番 組 審 議 会

◆開催日時：2014年3月13日（木）11：00～13：00

◆開催場所：株式会社 J C Nシティテレビ中野（JCN 中野）5階会議室

◆出席者：委員6名＋J C N中野6名＝計12名（敬称略）

委員 八十島信行（オーエスエスブロードネット株式会社 顧問）  
田辺裕子（中野区教育委員会 教育長）  
涌井友子（週刊とうきょう 主筆）  
折原烈男（折原コーヒー株式会社 代表取締役）  
長谷部智明（昭和新道商店街 会長）  
酒井直人（中野区広報担当 副参事）  
欠席委員 川島正英（元朝日新聞 論説委員）

JCN 中野 清水正康（代表取締役社長）  
内海隆（取締役 管理部長）  
佐藤雅広（企画制作部 グループリーダー）  
西井俊介（企画制作部 グループリーダー）  
村田直哉（企画制作部 主任）  
JCN 荻野雅也（東京西エリア制作室長）

### 1. 審議内容

開会にあたり、佐藤グループリーダーから以下の説明あった。

- ・川島委員は所用により欠席と連絡があった
- ・番組審議会規定の開催人数条件を満たしているため、本日の会議は成立となる

### 2. 事業概要説明

議事説明と出席者紹介に続いて清水社長から会社の現状について以下の通り説明があった。

#### 事業概要について

- ・中野区の総世帯数は18万8,090世帯（1月現在）
- ・テレビ、インターネットなどが楽しめるスマートTVを中心に営業活動を展開
- ・総接続世帯数は、今年の1月現在で15万487世帯  
（昨年3月に比べ約7千世帯増加）  
中野区の世帯数に対し約80%以上の方が

- コミュニティチャンネル（通称：コミチャン）を見られる状況にある
- ・幹線があるエリアでの総接続世帯数は17万6,900世帯（約85%）
  - ・総加入世帯数は2千世帯以上増加

#### **統合について**

- ・J:COMとJCNは4月1日付で合併（2月26日付報道発表）

#### **【(以下)6月1日からの変更点】**

- ・JCNブランドは全てJ:COMブランドに切り替わる
- ・デジマックス、デジエースなどのサービスの新規販売は全て終了  
(既存のお客様は継続して利用可能)
- ・J:COMが提供しているサービスと同等のものを新たに提供開始
- ・社名が「株式会社ジェイコム中野」に変更
- ・デイリーニュースも名称変更(詳細は追って案内)
- ・テレビCMなどマスメディアを使って告知、プロモーションができるようになる

### **3. 審議委員会の会長、副会長の選出**

佐藤グループリーダーから以下の説明があった。

- ・規定に基づき番組審議委員の中から会長、副会長を選出する必要がある
- ・従来は会長のみ行っていたが、規則によると副会長も選出する必要があった
- ・会長の選出は、欠席の川島委員にも伝えてある

八十島委員からの推薦の結果、川島委員を会長、折原委員を副会長とすることを満場一致で決定し、折原委員から就任承諾を得た。(川島委員には後日連絡)  
これにより、以降の議事進行を折原副会長が行う。

### **4. コミュニティチャンネル（通称：コミチャン）について**

西井グループリーダーから下記項目について説明があった。

#### **2013年度番組実績報告**

- ・デイリー中野の強化を柱に番組を制作
- ・ニーズに沿ったわかりやすいゾーン編成を行った
- ・通常番組7番組のほか、特別番組を7番組制作した

#### **主な通常番組と特別番組**

「デイリー中野」…10月から生放送、災害時の安心・安全情報を多く取りあげた

「ゆっくり歩こう！なかの散歩道」…出演者に中野区在住の稲川淳二さんを起用  
「中野チャンプルーフェスタ」…初の生放送  
「NUNO JAZZ FESTA」…東京工芸大学の学生と連携  
「中野にぎわいフェスタ」…全ての会場からモバイル中継機で中継を試みる  
フェイスブックで笑顔の写真を集める連動企画実施  
「東北復興大祭典なかの」…収録したものを当日放送し、集客力アップに貢献

#### ※中継に関する補足

(清水)災害時の緊急放送を見据えて、2月にモバイル中継機を購入  
iPhone を使ったりリアルタイムの放送もできるようになった

### 5. 番組に関する質疑応答

【意見】(田辺委員) 区の防災無線は聞こえにくいという苦情が多いので、データ放送で情報を出してもらえるのはありがたい

(八十島委員)災害時の区内の避難場所などを教えてもらえるのは便利  
データ放送の鉄道運行情報は大雪の際に助かった

【回答】(清水) 中野区に特化した情報は弊社の役割  
「ブルーシートの配布場所」といった情報も区と連携して提供していきたい

【質問】(八十島委員) データ放送の緊急情報は、中野区の災害対策本部と直に繋がっているのか？

【回答】(西井) 災害情報が発令されると自動的に発信する緊急アラートのようなもの。  
データ放送の右下に「重要」と出てくる文字情報は、中野区の防災課が打った情報を出すシステムになっている

(清水) 1月の中野区の震災図上訓練に弊社の制作スタッフが初めて参加した。有事の時には、災害対策本部の情報を生中継でお伝えできるような訓練も今後取り組んでいきたい

【意見】(酒井委員) 図上訓練で、JCNは外部の報道機関役として  
区に情報を提供を求める立場だった。今後はもう少しシビアな状況を想定してにやっていきたい

【回答】(西井) 災害対策本部の中からリアルタイムの情報を出していくのは弊社の使命。一方通行の情報提供にならずに、区民の方々にチャンネルを付けて頂けるようなプロモーションの強化も図っていきたい。

## 6. 2014 年度番組制作の方向性

デイリー中野の強化を柱に番組を制作

### 【変更点・ポイント】

- ・前年度放送の「コミチャン放送部」「チビくら」は番組としては休止。  
デイリー中野のコーナー化とする
- ・モバイル中継機を使って区内各地から中継
- ・区民特派員制度を確立し、区民による区民のための情報を展開
- ・情報量、出演率、エリアカバー率を増やす
- ・1日の放送回数を5回から3回に減らした

## 7. CSチャンネルについて

佐藤グループリーダーが2014年度のチャンネルの説明を行った。

J : COMとの統合の関係もあり、4月時点でチャンネルの追加はなし

### 2014年4月チャンネル名称変更

- ①「テレ朝チャンネル2 ニュース・スポーツ」  
→「テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ」(107ch)
- ②「GAORA」→「GAORA SPORTS」(205ch)  
「GAORA HD」→「GAORA HDSPORTS」(255ch)
- ③「チャンネル銀河」→「チャンネル銀河歴史ドラマ・サスペンス・日本のうた」(652ch)

### 2014年6月新チャンネル追加

#### 【新規追加(HD)5ch】

- ①FOXムービープレミアム
- ②FOXスポーツ&エンターテイメント
- ③テレ朝チャンネル1
- ④IMAGICA BS
- ⑤日テレプラス

#### 【新規追加(SD)5ch】

- ①FOX CRIME
- ②ディズニージュニア
- ③CNN/US

- ④DATV
- ⑤放送大学

**【HD化6ch】**

ディズニーチャンネル、釣りビジョン、日経CNBC、テレ朝チャンネル2、アニメ・シアターX、ホームドラマチャンネル

※5月30日(金)0:00~11:00 ほぼ全ch番号変更のため約11時間停波工事を予定。

**【質問】**(八十島委員)停波はCSのみなのか？

**【回答】**(清水)CSのみです

**【質問】**(長谷部委員)スカパーは見られないのか？

**【回答】**(清水)スカパーはアンテナが必要なため、提供していない

## 8. その他の意見・質疑応答

**【意見】**(涌井委員)取材先でよく会う。当日撮影して放送するのは大変だと思うが、JCNだからこそできること。動く映像は強い印象を与えるので、今後も取材を続けて欲しい

**【質問】**(田辺委員)「シティテレビ」という名前が浸透していると思うが、お店や団体の取材は協力的なのか？

**【回答】**(西井)今でも「CTN」という愛称で呼ぶ人も多く、みなさんに協力して頂いている

(清水)今後は「J:COM 中野」として浸透するよう、街の話題、街の笑顔を届けていきたい

**【意見】**(長谷部委員)地上波があつてBSがあつてCSがあつて、どのチャンネルを選択したらいいのかわからない人が多いと思う。若者はネットや動画アプリなど使いわけができるが、年配の方が選択しやすい仕組みはできないものか。

区外から引っ越してきた人たちは、自分が中野のどこに住んでいて、災害時はどこへ行けばいいのかなど、わかっていないことが多い。

町会やブロックなど、地域のつながりが認識できるようなことを番組の中で啓蒙して欲しい。

**【意見】**(酒井委員)行政としては区報が全戸配布だが、マンションや集合住宅では捨てられたりして、情報が行き届いていない状況もある。さまざまなメディアがある中で、ケーブルテレビの情報は重要だと思う。来年度は区役所から生中継するということが、地域の情報を映像と共にリアルタイムで出せるという強みを模索していきたい。

【意見】(八十島委員)

生活密着や、地域の安心・安全の情報は、ケーブルテレビしかないのではないかという思いが3.11以降強くなっている。1日1回、チャンネルをまわすのは「自分の身を守るため」と思ってもらえるよう、多面的な取り組みを行って欲しい。

【質問】(長谷部委員)J: COM グループとの統合で市場シェアが50%を超えると聞いたが、独占禁止法に触れないのか? オリジナリティは失われないのか?

【回答】(清水)グループあわせてのシェア率で、それぞれ法人として独自性があるので、独占禁止法には触れない。規模感を逆にうまく活用していきたい。地域によって特色があり、コミュニティチャンネルがあるのでオリジナリティは失われません。

(JCN 荻野)J: COM になると10chが札幌から九州まで「ブランドを活かした全国のコンテンツ」11chは「地域」という差別化を図っていく

【質問】(田辺委員)4月からの消費税引き上げの影響、対策を考えているのか?

【回答】(内海)世の中の動きなので、ケーブルテレビ業界として特別に何かをするわけではない。ただし年払いの方は既に支払っているため、更新の時期から8%の料金をお願いしていく。

閉会にあたり、清水社長から、前回の番組審議会であがった意見を番組に反映した結果についても、資料にまとめてあると報告があった。

以上